

自己肯定感に関する現状分析 (全国学力・学習状況調査より)

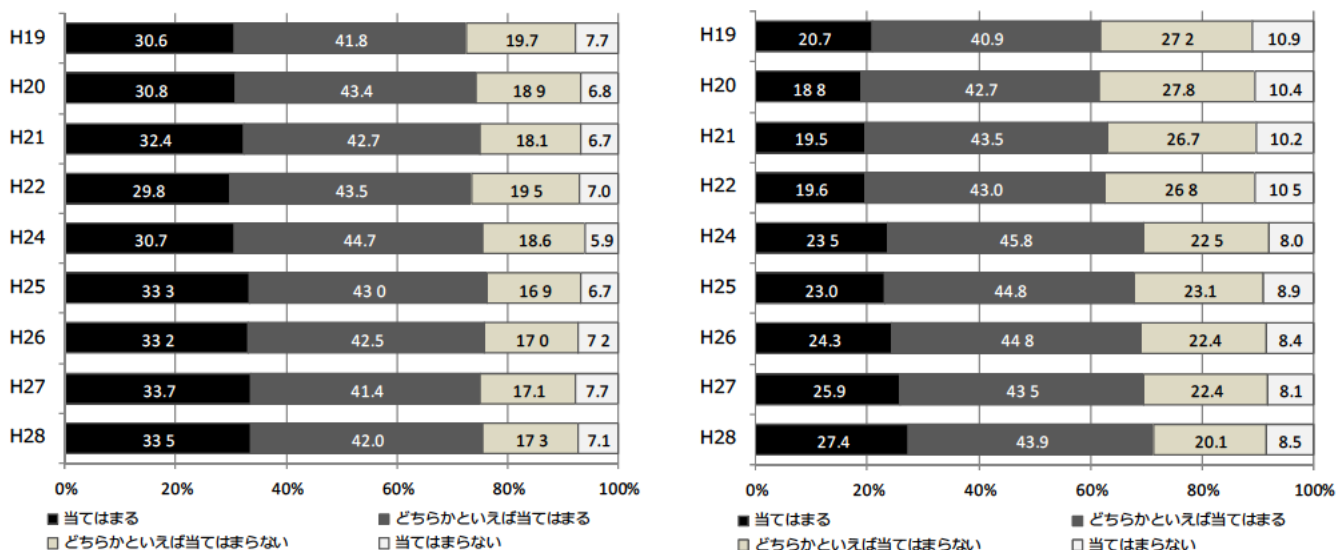
1 自己肯定感の経年変化

本県の子どもたちの自己肯定感は10年前と比較して増加している。
(小学生：+3.1ポイント 中学生：+9.7ポイント)

自分には、よいところがあると思いますか(三重県)

小学6年生

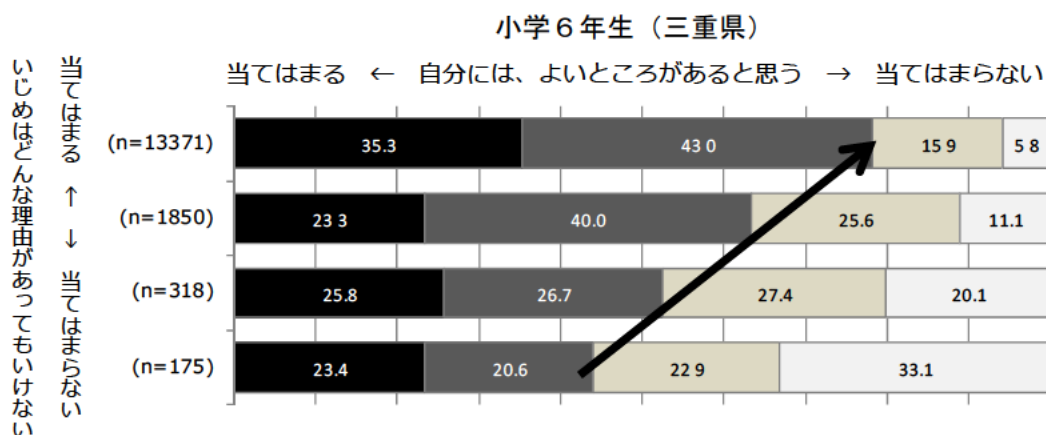
中学3年生

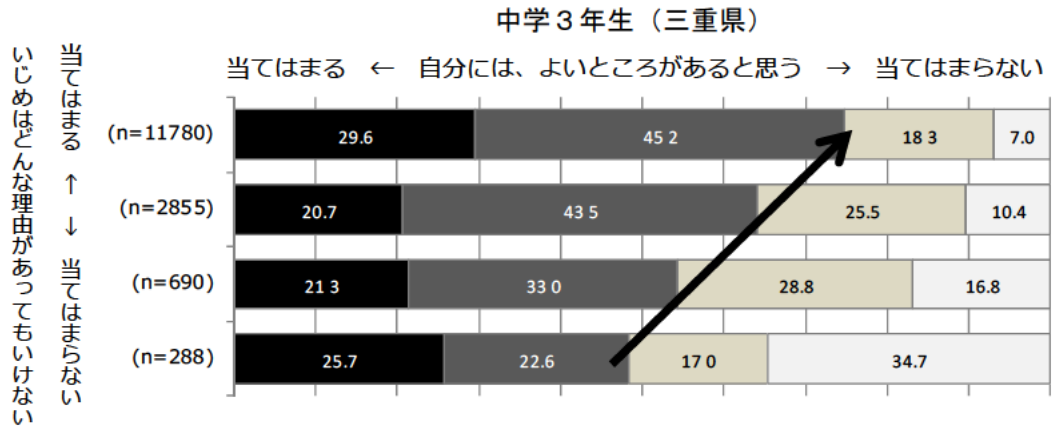


2 自己肯定感といじめ防止の意識、規範意識との関連

(1) 「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」との関係

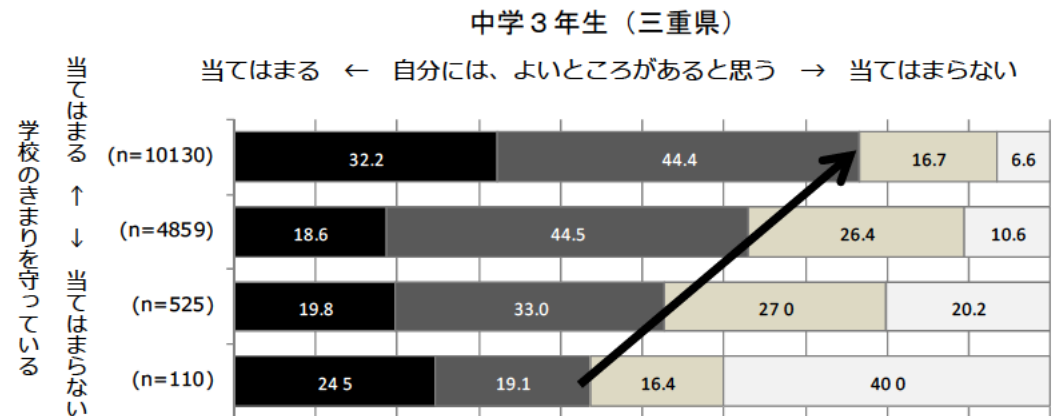
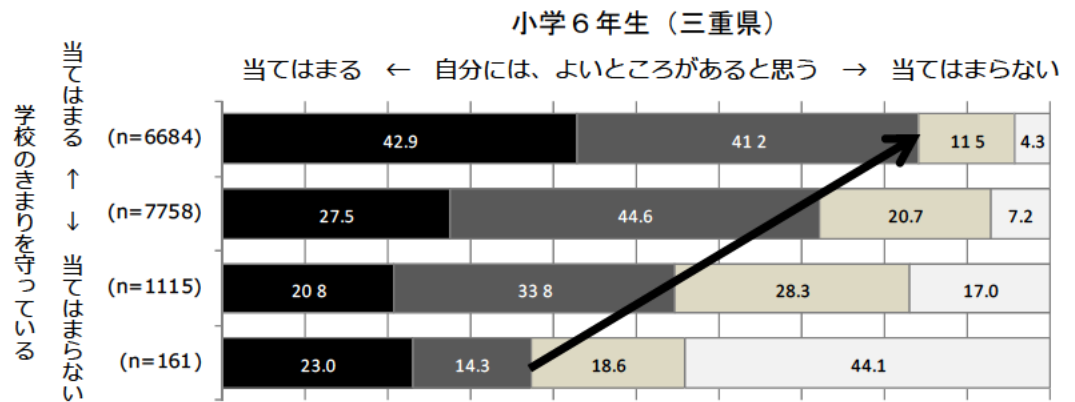
自己肯定感の高い子どもの方が「いじめはどんな理由があってもいけない」と答える割合が高い。





(2) 「学校のきまりを守っていますか」(規範意識) との関係

自己肯定感の高い子どもの方が「学校のきまりを守っている」と答える割合が高い。

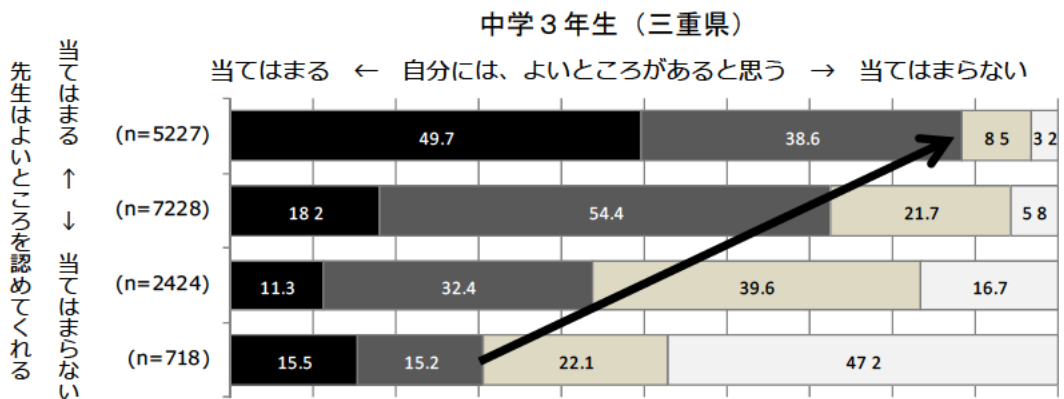
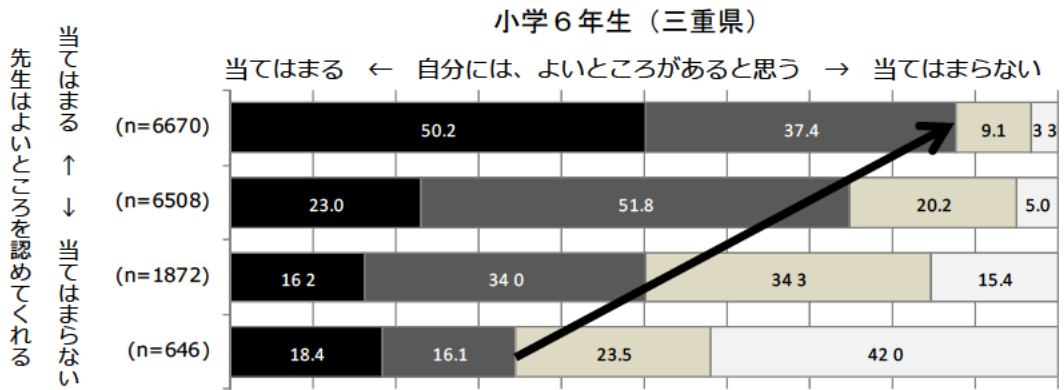


3 自己肯定感と学校・家庭・地域の関わりとの関連

(1) 学校の関わり

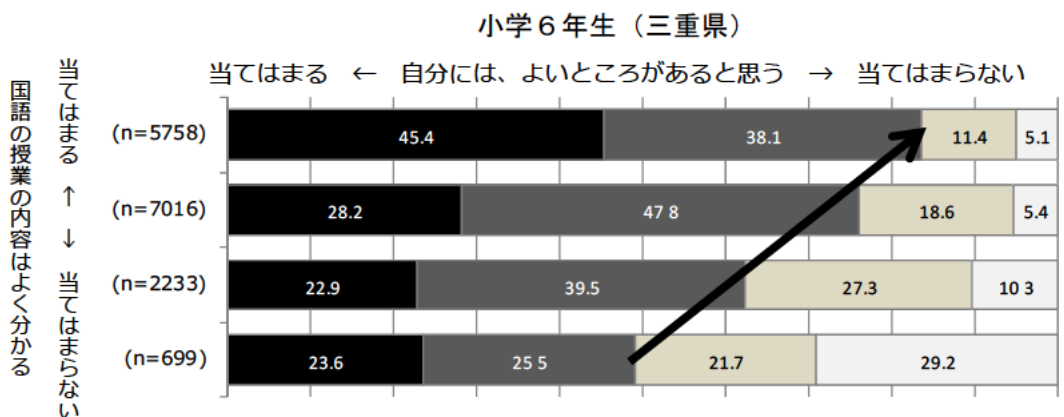
「先生は、あなたのよいところを認めてくれている」との関係

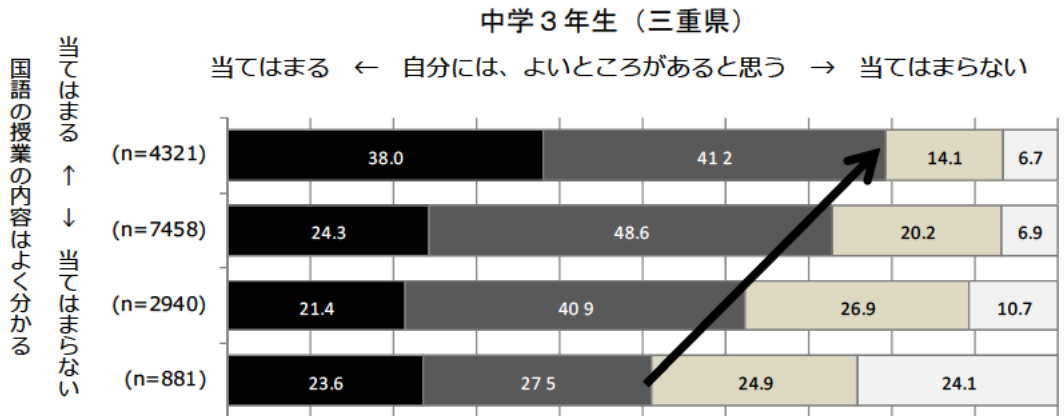
「先生はよいところを認めてくれる」と感じる子どもの方が自己肯定感が高い。



「国語の授業の内容はよくわかりますか」との関係

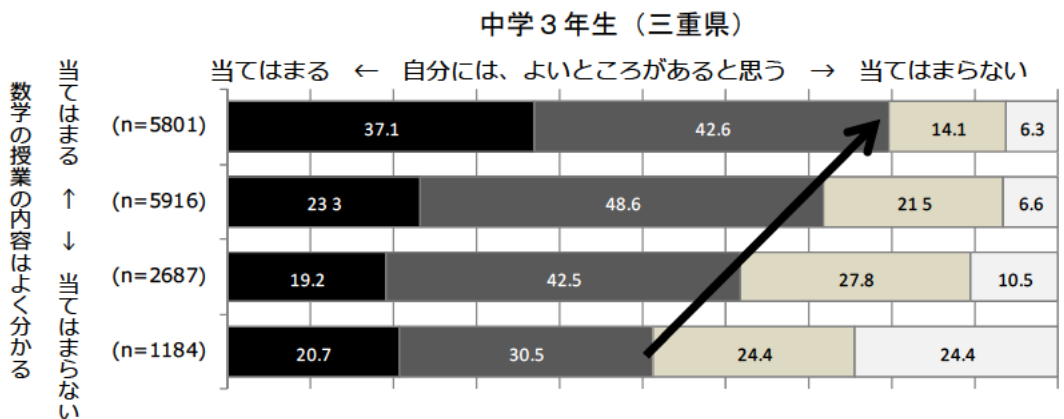
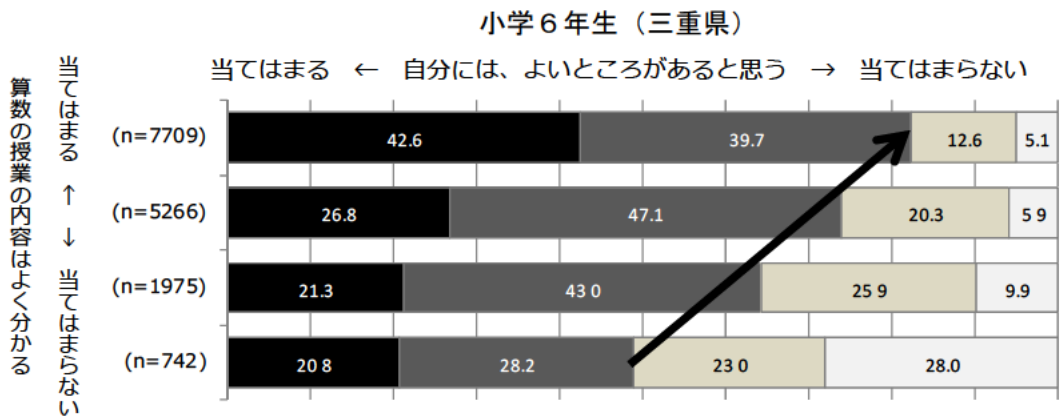
「国語の授業の内容はよく分かる」と感じる子どもの方が自己肯定感が高い。





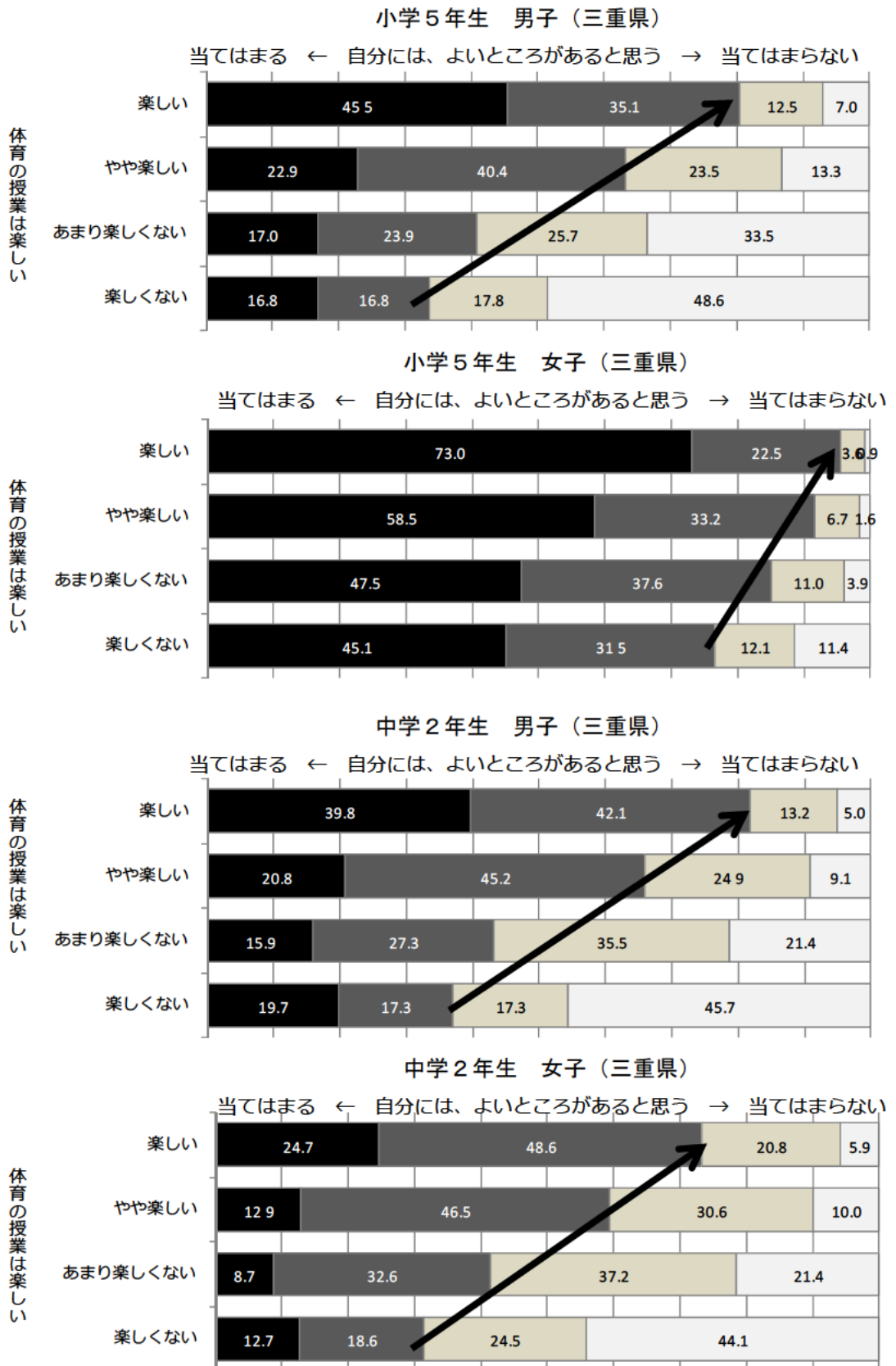
「算数（数学）の授業の内容はよく分かりますか」との関係

「算数（数学）の授業の内容はよく分かる」と感じる子どもの方が自己肯定感が高い。



「体育の授業は楽しい」との関係（平成 28 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査）

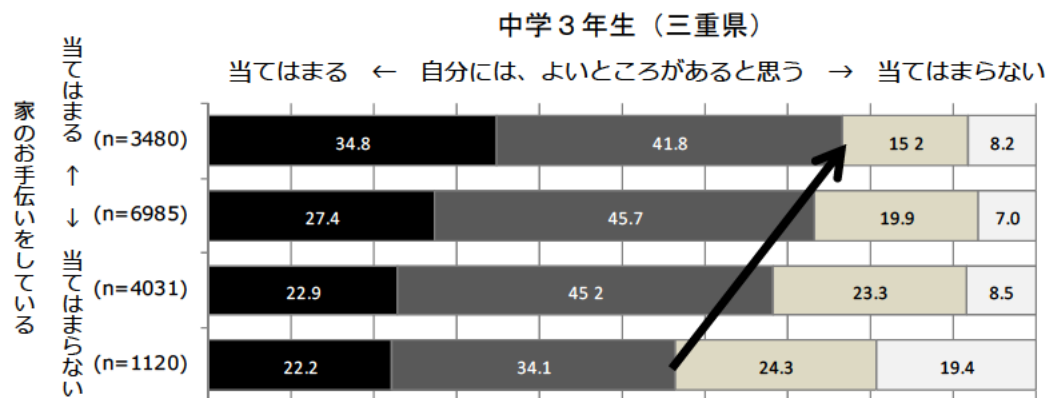
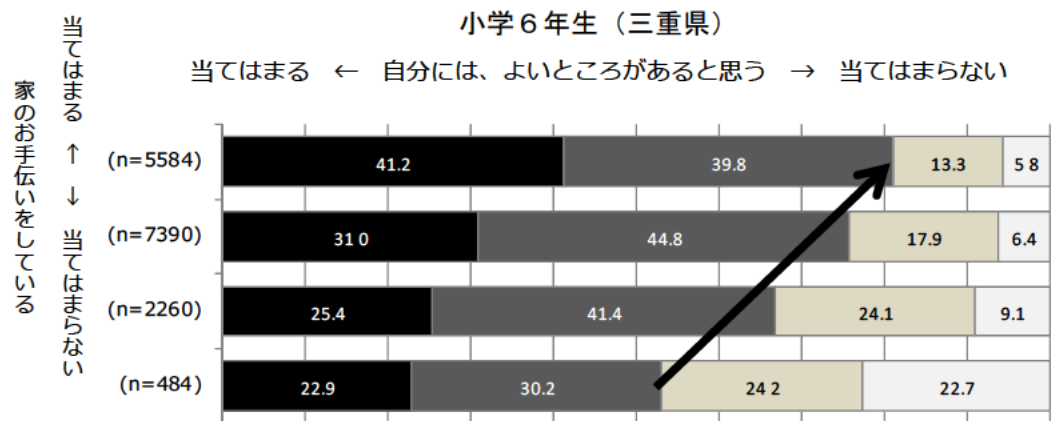
「体育の授業は楽しい」と感じる子どもの方が自己肯定感が高い。



(2) 家庭の関わり

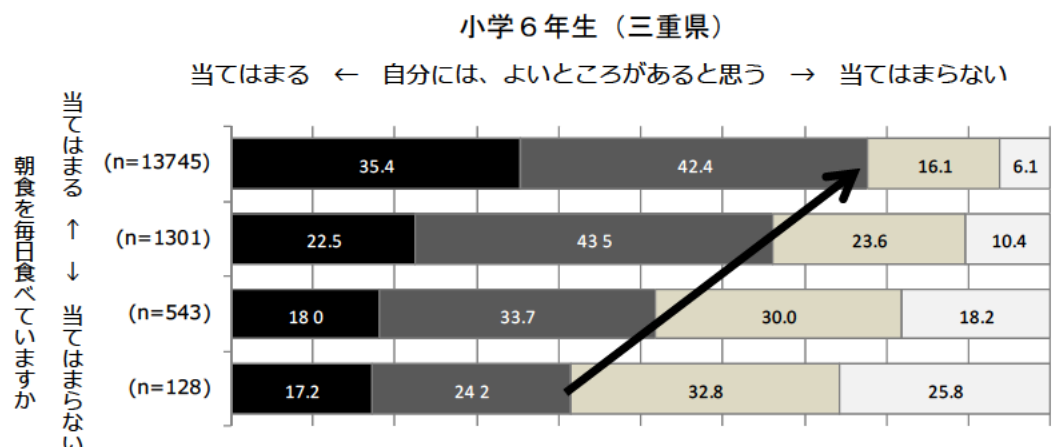
「家のお手伝いをしている」との関係

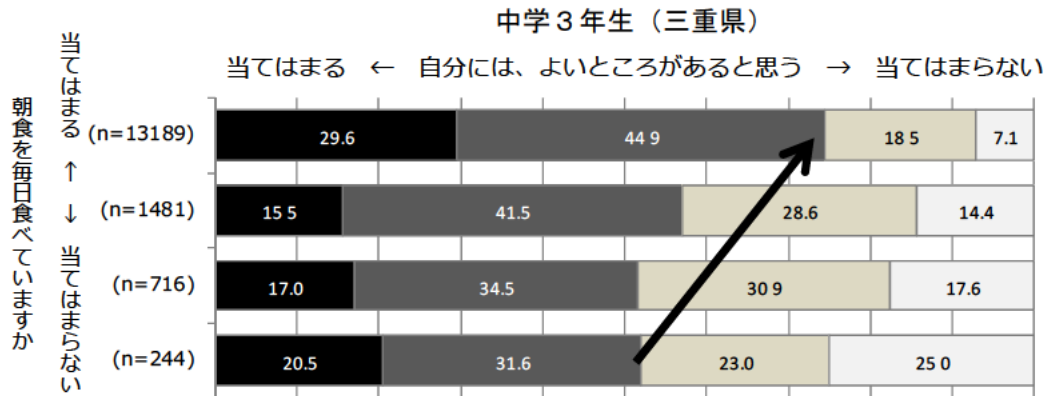
「家のお手伝いをしている」と感じる子どもの方が自己肯定感が高い。



「朝食を毎日食べていますか」との関係

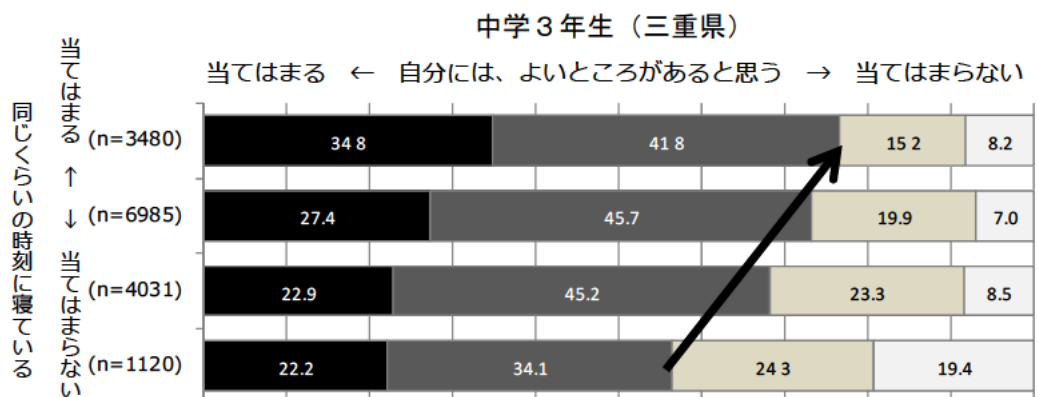
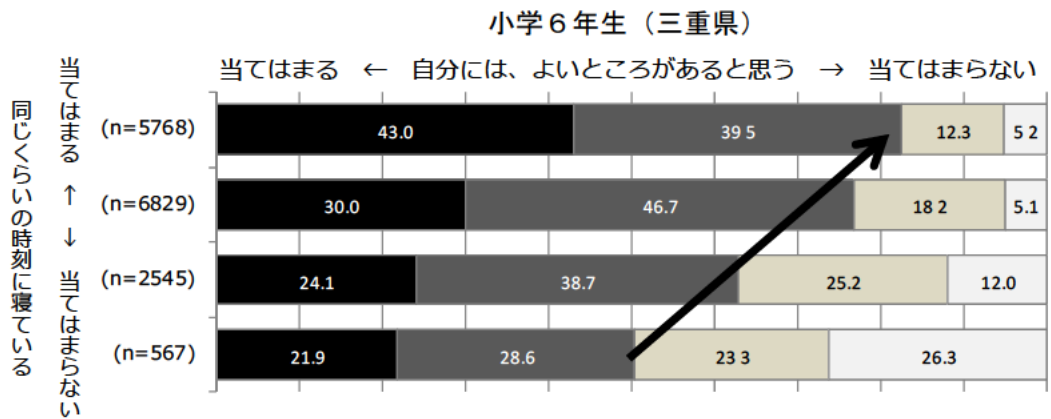
朝食を毎日食べている子どもの方が自己肯定感が高い。





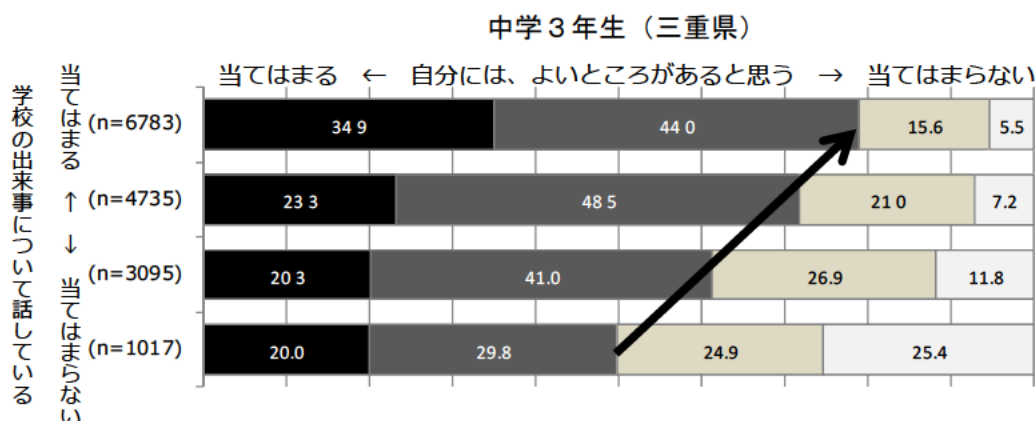
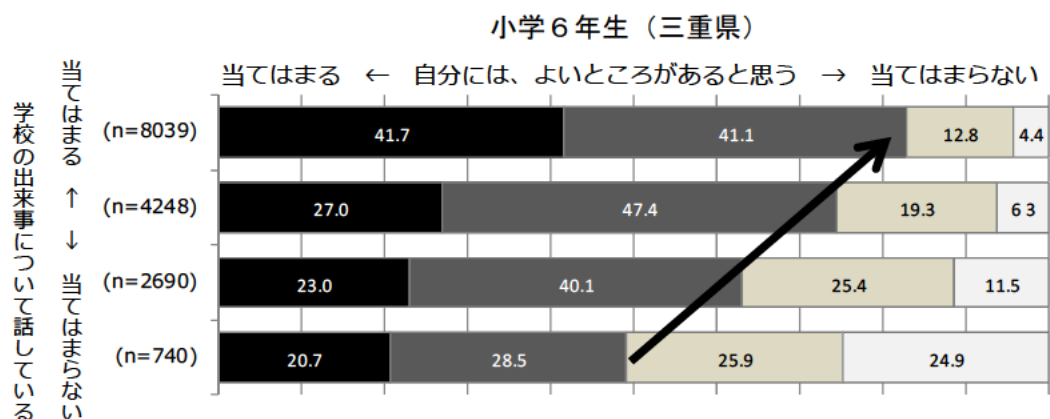
「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」との関係

毎日、同じくらいの時刻に寝ている子どもの方が自己肯定感が高い。



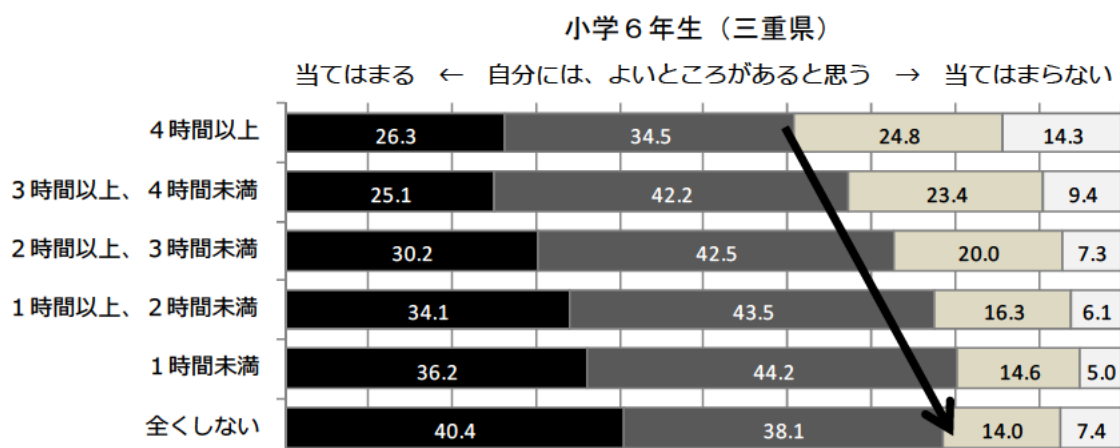
「家の人（兄弟姉妹を除く）と学校の出来事について話をしますか」との関係

家の人（兄弟姉妹を除く）と学校の出来事について話をしている子どもの方が自己肯定感が高い。



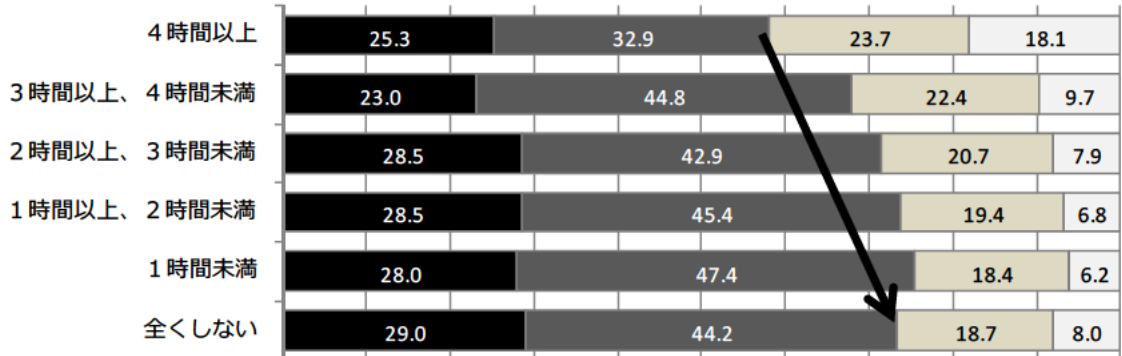
「普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含みます）しますか」との関係

ゲームをする時間の多い子どもの方が自己肯定感は低い。



中学3年生（三重県）

当てはまる ← 自分には、よいところがあると思う → 当てはまらない



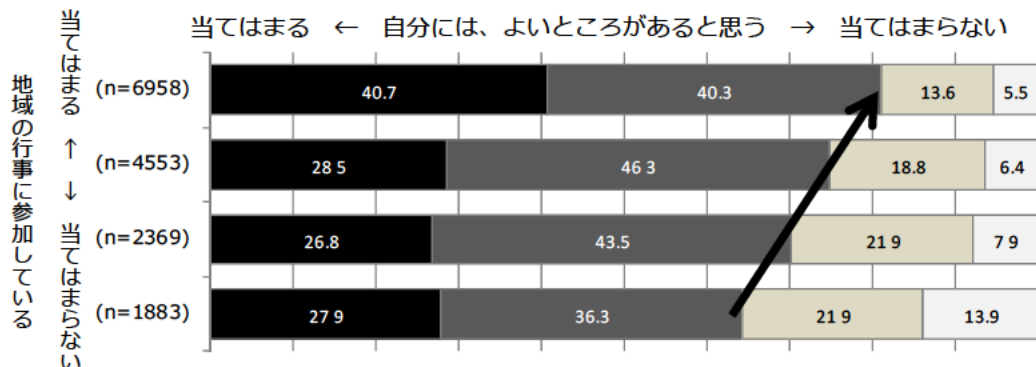
(3) 地域の関わり

「地域の行事に参加している」との関係

「地域の行事に参加している」と感じる子どもほど自己肯定感が高い傾向がみられる。

小学6年生（三重県）

当てはまる ← 自分には、よいところがあると思う → 当てはまらない



中学3年生（三重県）

当てはまる ← 自分には、よいところがあると思う → 当てはまらない

